

〈道路が通ったころ〉 100～50年前のころ

江戸時代までは、三島町の集落は峠でむすばれていました。にもつは人馬が運びました。

滝谷は伝馬宿の中心としてさかえました。西方は、越後街道の宿場としてさかえ、新潟からの塩の道となっていました。

明治24年に沼田街道がなおされ開通すると、宮下は会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、只見町方面をつなぐ交通の中心となつてはってんしていきます。



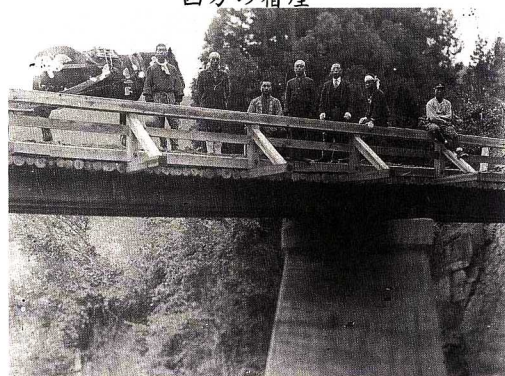
滝谷の宿場



西方の宿屋



むかしの店



むかしの橋